

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月 8日 更新

事務事業名		交通安全協会運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	田代 純児	
	施策	16	交通安全対策の推進				所属課	安全安心課	担当者名	下田 青空	
	施策の柱	51	交通安全意識の高揚				所属班	交通防犯対策班	(内線)	1242	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10037	根拠法令	熊本北合志地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱			
終了、開始年度		☒ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本北合志地区交通安全協会合志支部の活動を支援する事業である。交通事故の抑止と、交通安全活動の啓発及び交通安全運動の推進に寄与することを目的に事業が開始された。街頭啓発活動や交通安全イベント等を実施し、交通安全の啓発を行っている。
【業務の流れ】	監査・役員会開催、総会開催、補助金交付、各種啓発活動計画、各種啓発活動実施
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	熊本北合志地区交通安全協会合志支部への補助金を交付した。熊本北合志地区交通安全協会合志支部事業を実施し、交通事故の抑止と交通安全活動の啓発や推進に寄与することが出来た。	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		・補助金の支給。 ・熊本北合志地区交通安全協会総会や会議への出席。 ・熊本北合志地区交通安全協会合志支部総会の開催 ・協会主催の行事への参加。 ・支部主催の交通安全啓発活動の実施。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 熊本北合志地区交通安全協会主催行事への参加回数	回	令和6年度から10038交通安全啓発事業に統合することによる減
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・熊本北合志地区交通安全協会		→ ア 支部役員数
・熊本北合志地区交通安全協会合志支部		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
目標に沿った活動及び運営ができる。		→ ア 交通安全教室の開催数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
交通安全の推進を図るためには、交通安全教室の開催回数が市民の意識向上につながる。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	7	7	10	7				
	イ									
② 対象指標	ア	人	19	18	19	16				
	イ									
③ 成果指標	ア	団体	27	36	36	35				
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	485	485	485	485			
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	485	485	485	485			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	3	4	3			
入 費 用	延べ業務時間	時間	420	640	400	590				
		(B) 人件費計	千円	1,642	2,435	1,593	2,148			
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,127	2,920	2,078	2,633			

事務事業名	交通安全協会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は 5 年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 補助金の支払い、また、運営も適正に実施され目標を達成した。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 令和 6 年度より 10038 交通安全啓発事業に統合。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 交通安全教室や啓発活動を繰り返し続けることにより、市民の安全意識のさらなる向上が期待できる。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和 6 年度より 10038 交通安全啓発事業に統合。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ・交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱により補助対象経費が規定されており、協会の運営に必要な経費だけの補助である。 ・負担金については、交通安全協会の算定によるものであり、削減できない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 市の交通安全対策と一体となった事業を行っており、最低限の事務費である。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援業務であり、公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 市民を対象とした協会の活動 (交通安全教室等) を支援するものは行政の責務で妥当である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

交通死亡事故が発生しないよう、更なる広報・啓発が必要である。
交通安全教室については、今後も制度の周知に努める。
また、各種啓発活動も工夫を凝らしながら継続していく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								